

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 集計結果

実施：平成29年11月

公表：平成30年 7月10日

事業所名 通所支援事業所「すまいるⅡ」

◇環境・体制整備について

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	未記入	自由記述欄
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6				・子どもたちが自由に動き回れるスペースを考慮して道具を配置している。 ・和室に冷暖房機器が必要であると思う。
②	職員の配置数は適切であるか	2	4			・個別に関わる時間が少ないと感じる事がある。 ・送迎などで手薄になってしまう曜日や時間帯には「すまいる」の職員に手伝ってもらっている。
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		6			・玄関の段差に対しては、スロープ等の配慮が必要と感じる。

【今後の対応として】

- ② - 改善に向けて検討していきたい。
- ③ - 玄関先の段差解消を検討中である。

◇業務改善について

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	未記入	自由記述欄
④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1	5			・職員が揃ったときに支援の振り返りを行ったり、支援会議を行ったりするなど工夫しながら実施している。
⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		3	3		
⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		2	4		
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		2	4		
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6				・研修案内の周知がなされており、参加しやすくなっている。

【今後の対応として】

- ④ - 今後も工夫しながら行っていきたい。
- ⑤ - 業務改善に努めていきたい。
- ⑥ - 事業所評価をホームページに掲載する予定。
- ⑦ - 法人本部を含めて検討・協議して行きたいと思う。

◇適切な支援の提供について

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	自由記述欄
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	1	5			・主観的にならないように、他の職員とも情報を共有しながら確認を行っている。 ・毎日のお子さんの様子や行動記録して、全職員で振り返りを行っている。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	5			・工夫はしていると思う。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	4			・月案（月の活動プログラム）をたてて活動を行っている。
⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	4	2			・季節的な要素や行事的な要素を取り入れながら固定化しないように配慮はしている。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	5			・長期休業中は、お掃除や休憩時間を設けたりしながら工夫して対応している。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		5	1		・リラックスした時間も必要と思うため、あまり多くの集団活動は実施していない。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1	2		・決まった時間に実施することが難しいときもあるが、朝の打ち合わせや振り返りを行って確認をしている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2	2		・各自で記録を取り必要なことは、翌日の打ち合わせで周知・共有している。 ・気づいた点をメモして、職員間で話をするようにしている。 ・記録を個々に取ることで、気付いた点の共有を図っている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1	2		・記録の重要性は分かっているが、なかなか追いついていかない。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		5	1		・保護者と話し合いを持ち、支援内容を確認している。 ・気付いたときに話すことはしているが、確実に定期的に行うことは難しい。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動※を複数組み合わせ支援を行っているか		6			

【今後の対応として】

⑨ - 今後も継続していけるように努めていきたい。

⑩ - 2月に各事業所からアセスメント研修に参加。支援計画立案の際に採用するか現在検討中。

(Vineland - II 適応行動尺度)

⑪ - 今後も継続していけるように努めていきたい。

⑬～⑭ - 実施できるように努めていきたい。

⑯ - 支援終了後の打合せは、実施が難しいため、支援開始前の打合せで前日の振り返りも含めて情報共有を行う。

⑲ - ※基本活動とは…自立支援と日常生活の充実のための活動・創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供の4つの活動のこと

◇関係機関や保護者との連携について

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	自由記述欄
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	5			
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	2			・月末に下校時間のプリントを見て、迎えの時間を確認している。 ・送迎時に注意する点などは、個々の実態に応じて確認し合うこともしている。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3	2		・現在は対象児が居ません。
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2			・併用をしている場合は、施設の見学やお子さんの様子など互いに足を運んで共有に努めている。 ・情報共有がされている。
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5			
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	5			・参加できる職員は積極的に参加している。
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	5		
㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2		4		・そのような場に参加できる機会が少ない。 ・できるだけ参加している。
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1	5			・迎えにきた時に日々の様子や課題を伝えている。 ・連絡帳や送迎時に伝えている。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	2		・ペアレントトレーニングの研修に参加している ・保護者の支援までは難しいが、相談事にはできるだけ聞いて答えている。

【今後の対応として】

- ⑳ - 子どもの状況に精通した職員が参加できるように努めていきたい。
- ㉑ - 次年度は各学校の年間行事とすりあわせを行いながら、当事業所の年間計画を考えたい。
- ㉒～㉔ - 実施に向けて努力をしていきたい。
- ㉕ - できるだけ連携が図れるように努めていきたい。
- ㉖ - 現在、放課後児童クラブ等との地域交流はないが、少しずつ地域にも当事業所について知っていただきながら、交流できる場や機会を作っていきたい。
- ㉙ - ペアレント・トレーニングの研修を受講した職員がいるため、保護者の希望も含めて確認し、機会があれば取り入れていきたい。

◇保護者への説明責任等について

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	自由記述欄
③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	3	1		
③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		6			・相談事があれば真剣に話を聞くことができる時間を今以上に作っていきたい。
③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	1		・交流会を設けている。 ・保護者同士で話し合う時間が持てるように工夫が必要であると感している。
③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2			
③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6				・すまいる通信でお伝えしている。 ・毎月通信を発行して保護者に伝えている。
③⑮	個人情報に十分注意しているか	6				・守秘義務を守っている。
③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	1	3		2	・適切な配慮ができていないかよく分からない。
③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	5		・これから、そのような機会を作って行きたいと思う。

【今後の対応について】

- ③⑫ - 父母の会に関しては、今後アンケート等を実施し、保護者の皆様方よりご意見をいただきながら前向きに考えていきたい。保護者会は年に1度行っているが、回数を増やすなど、保護者様同士の交流の場を提供できたらと考えている。
- ③⑰ - 当事業所を利用していることを知られたくない利用児もいるため配慮は必要だが、地域に開かれた施設を目指して事業運営や内容を検討していきたい。

◇非常時等の対応について

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	未記入	自由記述欄
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3			<ul style="list-style-type: none"> 職員にはマニュアルが策定されている。 常に危機感を持って、子どもたちの安全を心掛けている。
③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	2			<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練を行っている。 定期的に行なっている。
④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				<ul style="list-style-type: none"> マニュアルが作成されている。 研修会を開いて対応できるように心掛けている。
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		4		2	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束については理解している。 対応する利用者がいない。
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		3	3		<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの情報で対応している。 不安な場合は、必ず保護者に確認を行っている。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	2			<ul style="list-style-type: none"> 作成はしている。 マニュアルを作り活用している。

【今後の対応として】

③⑧ - 非常時に備え、各マニュアルを保護者向けに作成して配布する予定。

④⑬ - 今後は、職員間での情報共有を密にして、改善できる点などについても話し合っていくようにする。